



特定非営利活動法人
六甲クラブ

ROKKO NEWS

http://www.rokkorugby.com

Vol. 3

全国大会直前号



次に繋がる負けはない。負けて出来るのは言い訳だけ。
勝負事は勝つ事に意味がある。勝たなければ意味が無い。

全国大会 いざ出陣!



インタビュー
主将・遠藤信太郎
副将・藤原 慶史

いよいよ全国大会。
ここから本場の戦いだ!

遠藤「4月から戦い続けた中で、ワールドや新選手の加入でチーム内の競争力が高まりました。その一方で、みんなすぐチームに溶け込めたというのは、クラブの居心地のよさがそうさせるのでしょうか。時代が変われど、六甲の良い伝統が脈々と受け継がれているというのを強く感じています」

藤原「去年とは違って、メンバーングに正直悩む時があります。うれしい悲鳴です(苦笑)。全国のどのクラブチームを見てもポテンシャル&経験ともにナンバー1でしょう。これに甘んじず、チームをまとめるのがボクらの役割です」

試合を重ねるにつれて感じたことは?

遠藤「名古屋クラブのように、出足が速く、相性が悪いチームにも完勝できたことは非常に大きかったと思います。国体予選、本選など夏以降ロースコアでのタイトな試合に競り勝てるようになってきたのは大きな収穫です」

藤原「BKはFWと違い試合中に判断が求められる場面がしばしばあります。その判断、プレーの選択が、ここに来て一致しつつあります。FWのセットプレーは六甲の生命線。ここで有利に立てているからこそ、今のBKが生き延びています」

Forever Young!
六甲RW
今年も快進撃!



もう一つの六甲クラブ、兵庫県リーグに所属する「六甲レッドウィングス」が、今年も優勝道をばく進中だ。FWの主力はベテランメンバー。益田、伊東、藤原裕など「秩父宮V戦士」が健在だ。また今年からは元日本代表LO・羽根田智也が本格参戦。

「日々の試合に体が動くか心配だよ」と言いながら、いざキックオフになるとケタ外れの突進を繰り返した。47歳になった鉄人CTB・東田哲也も元気がいっぱい。12月6日の栗の木戦では衰えを見せぬ走りでの会心のトライを奪った。

19歳SHの躍動にベテランが刺激を受け、52歳FLのタックルに若手が感動を覚える。幅広い世代の選手が同じピッチで楽しく強く勝利を追い求める。クラブラグビーの理想像がここにある。

頂点まであと3つ。本場の勝負が始まる。

遠藤「六甲には誠(CTB・山下)や圭(FB・中西)、内山さん(WTB)など抜群のアタックセンスを持った選手がたくさんいます。ただ、DF(ディフェンス)のできないチームで過去に優勝したチームは存在しません。春からしっかりと取り組んできたDFは、なかなか成果が見えませんが、決勝の名古屋戦ではDFが機能できた。六甲自慢のAT(アタック)にチームDFが機能するようになれば怖いものはありません」

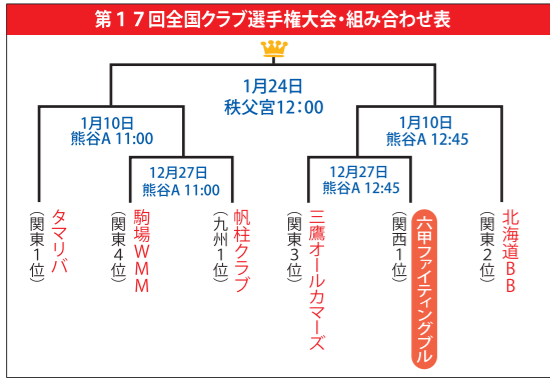


主将の遠藤信太郎選手

藤原「遠藤と僕は、試合になればスター選手ではありません。寡黙に、チームのために、声と体を張り続けるのが役目です。個性派集団が今よりまとまった時、チームは今より一枚も二枚も強くなる。このチーム、六甲クラブでラグビーできていることに喜びを感じています。勝利にどこまで意識できるか、どこまで思いが強いのか。ペクトルを一つにして必ず勝ちます!」



副将の藤原慶史選手



ROKKO NEWS



しげもり まさひろ
BK 重森 政宏
㈱三井住友銀行・姫路法人営業部

■プロフィール
1983年4月26日生まれ。26歳。茨木高→大阪市大。高校の先輩にはタマリバ元主将・桑江がいる。休日にはコンビニでビールを買おうとしたら、店員から身分証明書提示を求められるほどの童顔。たまに帰る高槻の自宅で愛犬の熊吾郎とじゃれあうのが楽しみのひとつ。



やすだ のぼる
FW 安田 昇
㈱ワールド・バイニングSPA
第2統括部 grove エリアMD

■プロフィール
1974年3月10日生まれ。35歳。啓光学園→専修大→ワールド。啓光学園3年時に全国大会で初優勝。ワールドラグビー部在籍中は不動産のHOとして活躍。自宅の「筋トレルーム」がちょっと自慢。日本代表C.A.P.I. 188センチ、88キロ。

働け!! 六甲戦士!!

「メリハリができていいですね。ラグビーを真剣に打ち込めば、いいリフレッシュになります。『日本一に挑戦している』ってことが、仕事でのモチベーションにつながります」

未来の「流パンカー」目指して、世界遺産の城下町で奮闘する男がいる。「主に姫路城から東と加西市などの法人営業を担当しています。1日10件をノルマにしていますが、なかなか」と重森は頭をかく。営業先での外回りはサラリーマンのイロハのイ。笑顔で得意先を回る毎日だ。職場の部長はかつて六甲副将だった藤井慎介(現NY支店勤務)の上司だったことから、ラグビーにも理解があり、新潟国体も喜んで送り出してくれたという。「お客様からも『国体惜しかったな』『全国大会、頑張つてや!』と激励をいただいたときは、本当にうれしいですね」

多忙な日々だからこそ、ラグビーは欠かせないという。

「個人トレーニングは週3回くらい。王子公園のサブトラックを走りこんだり、鉄棒で懸垂、腹筋、腕立て。以外と原始的ですよ(笑)。出張先でもちゃんと走ってます。知らない

街を走ってその地域の文化とか生活を感じるのが好きですね。北海道の登別だったかな。山道を走っていたら一面の湖にたどりついたら、まさに息をのむ景色で、思わず吠えちゃいました」

「ラグビーと仕事はリンクしてはいますからね。安田がよく口にしている言葉だ。『仕事だけやってたらよけいシンドイと思う。いい意味での息抜きっていうか、両方真剣に取り組めば、相乗効果が出て、毎日が楽しくなる。職場のみんなも応援してくれるし、(07年)決勝戦には、東京の仲間が応援に来てくれました」

「行かないとアカンでしょ!」



お問い合わせ先:
特定非営利活動法人 六甲クラブ サポーター会員募集事務局(担当:中島誠一郎)
お問い合わせはEメールにてお願い致します。e-mail:rokkoclub@hct.zaq.ne.jp FAX:079-243-1156
HPからお申し込みください。 <http://www.rokkorugby.com>

個人後援会員	団体・法人会員	ユニフォームロゴ・スポンサー
年間会費 5,000円	年間会費 1口10,000円(原則2口以上)	年間50,000円~(要相談)(原則2年契約)
予定している特典 ・会報の送付 ・試合、行事などの案内 ・ファン集の案内、優待など	予定している特典 ・試合、行事などの案内 ・後援企業(団体)交流会 ・企業(団体)広告の掲載 ・ファン集の案内、優待など	予定している特典 ・ジャージ・バントなどロゴ ・団体、法人会員と同等の特典 ※詳しくはお問い合わせください。

